

都市再生整備計画

にしのみやちゆうおううん どう こう えん しゅう へん
西宮中央運動公園周辺地区

ひょうご にしのみやし
兵庫県 西宮市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	兵庫県	市町村名	にしのみや 西宮市	地区名	にしのみや 西宮中央運動公園周辺地区	面積	233.3 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度				

目標

大目標：
西宮市立地適正化計画の基本方針の一つに掲げる「文教・スポーツ施設を拠点としたまちづくり」を推進するため、魅力と活気に満ちた緑都市空間を中心市街地に創出し、基本理念である「地域の魅力を生かした誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくり」を実現する。

目標1：文教・スポーツ拠点施設として誰もが利用しやすい運動公園の機能強化により、「Sport in Life」の理念の浸透と防災機能や環境性能の都市機能及び居住環境向上を図り、更なる西宮らしさを創出する。
目標2：中心市街地としての立地特性を活かした多様な活動やイベントによるにぎわいの創出や、地域活動を支援する施設を再配置することで、官民連携によるまちづくりを推進し、地域活性化を目指す。
目標3：サイクルポート設置等により、まちなかの回遊性機能や主要駅とのアクセス性の向上を図り、広域的な利用を促すとともに、緑環境の改善を図ることで、まちの魅力向上を目指す。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
本市は、六甲山系・北摂山系・大阪湾に囲まれるとともに、関西経済の中心である大阪・神戸の中間に位置しており、多数の教育・文化施設にも恵まれた文教住宅都市として発展してきた。一方で、少子高齢化や人口減少の進展により、持続可能な都市経営が大きな課題となっており、誰もが暮らしやすいコンパクトな都市構造の維持や持続可能な都市経営を図るため、「西宮市立地適正化計画」を策定している。計画は、「地域の魅力を活かした誰もが暮らしやすいコンパクトなまち」を基本理念とし、「地域の特性を活かした居住の誘導」「地域に応じた生活サービス施設の維持・誘導」「コンパクトシティ・プラス・ネットワークに基づく交通機能の強化」の3つを掲げ都市全体の再編に努めている。

このうち、地域に応じた生活サービス施設の維持・誘導として「文教・スポーツ施設を拠点としたまちづくり」を推進するため、本地区が位置する西宮中央運動公園周辺を都市機能誘導の政策拠点に位置付け、市中心部の憩いとスポーツ・レクリエーション活動の中心、かつ、災害時の地域防災機能の充実・強化を図る中長期的な避難所機能を有する総合体育館及び陸上競技場を整備することで、都市機能、スポーツ・レクリエーション機能及び防災機能の向上を図る。

更には、公的不動産の活用策として、機能の再編・集約を促し、西宮中央運動公園内の公園・運動施設等の再整備を実施し、有効活用を図るとともに、PFI事業(BTO方式)として民間活力の導入を企図する。

まちづくりの経緯及び現況

- ・本計画地区は、都市拠点地区として市中心部に位置し、JR東海道本線(神戸線)西宮駅及び阪急神戸線西宮北口駅から徒歩圏内(徒歩約15分・半径約1km圏内)にあり、主要幹線道路である国道171号に隣接するなど、交通利便性が高い。また、病院、市役所、図書館、文化施設、大規模商業施設、大学が立地するなど、生活利便性が高く、居住に適した重要な市街地となっている。
- ・「立地適正化計画」において、市民生活や都市活動の拠点である「都市機能誘導区域(都市拠点形成区域)」に設定されているとともに、「居住誘導区域」にもなっている。当地区の将来推計人口は増加が見込まれているが、中長期的な人口動態の変化にも対応できるよう、にぎわいの拠点として再整備を行うことで持続可能性を確保することが重要である。
- ・本計画地区では、高齢者をはじめ誰もが出掛ける機会のきっかけとなり、子育て世代にも魅力ある住環境を効率的・安定的に維持・確保していくため、既存ストックを活用した緑と憩いの拠点整備や、誘導施設へのアクセス性の向上、安全で快適な歩行空間・自転車走行空間の確保などによる住環境整備が求められている。
- ・このような中、本計画地区内を誘導圏域とする地区公園である「西宮中央運動公園」は当初、市民運動場として昭和24年に多目的グラウンド、昭和32年に陸上競技場、昭和40年には体育館を開設し、その後、昭和44年に遊具広場を設置したのを機に都市公園として告示することになり、多くの市民に親しまれている。また、平成7年に発生した阪神・淡路大震災時には、現体育館が避難所として活用された他、陸上競技場には仮設住宅が建設され、他県からの応援・自衛隊等の活動拠点としても活用されるなど、地域防災拠点として重要な位置付けとなっている。
- ・しかしながら、整備後約70年が経過しており、施設の老朽化が顕著で、バリアフリー化の面でも公園全体における円滑な移動においては支障が生じている。更に体育館においては、旧耐震基準であること等、深刻な課題の他、高齢者をはじめとした社会環境の変化や利用者ニーズへの対応が必要な中、合わせて、利用枠を拡充する必要がある。
- ・そこで本計画では、地区外にあるリゾ鳴尾浜及び西宮スポーツセンターを統合・機能再編し、中長期的な避難所機能やホール機能を併せ持つ総合体育館を整備することで、スポーツ・レクリエーション機能の都市拠点エリアへの集約再配置、及び防災機能の向上を図る。
- ・さらには、市民緑化活動センター(西田公園)の整備やエリア活性化推進協議会の設立により、周辺住民がスポーツや緑化活動を通して楽しめる環境や、地域交流イベント等の様々な活動について官民連携して取り組み、スポーツを核としたエリアの交流人口の増加と地域活性化を図る。

課題

- ・中核市である本市においても人口減少・少子高齢化は不可避であり、施設の老朽化を踏まえ、スポーツ施設等においても都市機能の維持・立地の適正化を図る観点から再編・再配置が必要である。
- ・本計画区域内の地区公園である中央運動公園にある運動施設の稼働率が高く、予約が取れない状況が多く発生しており、スポーツ拠点として十分な機能が発揮できていない。
- ・阪神・淡路大震災の経験や昨今の災害の激甚化・頻発化などから、防災機能の強化・充実が必要である。
- ・幅広い世代の交流ができ、だれもが利用しやすい公園として、インクルーシブの観点やバリアフリー化の視点から整備が必要である。
- ・地域の交流拠点として、周辺でのサイクルポート設置や道路改良などによるアクセス性の向上が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- ①第5次西宮市総合計画(2019～2028)(令和元年度策定)
 - ・「誰もがスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じた健康づくりや交流が活発なまちをつくる」ことを目的のひとつとして掲げており、これを受けて中央運動公園をスポーツ・レクリエーションの拠点に位置づけ、スポーツ推進の中核をなす総合運動施設として、また災害時の活動拠点として再整備することと規定(「都市計画マスタープラン」)している。
 - ・JR西宮駅及び阪急西宮北口駅周辺を都市機能が集まる拠点として、引き続き本市の都市核に位置付け、交通アクセス環境の改善を図りながら、これら拠点が周辺の住宅地と密接に連携することで、人口減少や高齢化の進行にも対応しながら、西宮らしい生活が営まれ続ける、活力と魅力ある都市空間の形成につなげる。
 - ・高齢化や人口減少が進む一方で、財源や人的資源に限られる中においては、これまでの人口増加期とは異なる社会変化が予測されていることを認識し、時代に応じた課題へ適切に対応しつつ、持続可能な行政運営を行うことが重要。
- ②スポーツ推進計画後期計画(2019-2023)(平成30年度策定)
 - ・「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ参画人口の拡大
 - ・スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- ③西宮市みどりの基本計画(令和2年3月策定)
 - ・新体育館や新陸上競技場をはじめとする公園全体の再整備を行い、市民の憩いの場、子供たちの遊びの場を充実させるとともに、スポーツ・レクリエーション機能や、地域防災拠点の機能の充実を図る。
- ④西宮市公共施設等総合管理計画(令和5年3月改訂)
 - ・「基本的な方針」として、施設の性能・機能や将来的な需要などを踏まえて保有施設の適正量を見極め、余剰となる施設の再編・処分等を行うことにより総量の縮減を図る。
 - ・「運動施設」について、市民スポーツを推進する役割を今後も果たしていく中で、人口減や高齢化社会など将来的な要素やそれによって予測される需要などを考慮に入れながら、市内のみならず隣接市町を含めた施設の適正量を見極め、施設の統廃合・再編を検討しつつ、収支面・受益者負担の観点からも、市立スポーツ施設の持続可能性を精査する。

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

「西宮市立地適正化計画」に掲げる「地域の魅力を活かした誰もが暮らしやすいコンパクトなまち」の形成に向けて、都市施設の集約により、拠点の魅力向上と良好な住環境の実現と合わせて、交通ネットワークにより結ばれたコンパクトシティの実現を目指す。

- ①本市の「まちなかの拠点」としての公園とするため、臨海部にある「リゾ鳴尾浜」については廃止、かつ健康増進機能の中核機能を都市拠点エリアへ移転し、更には西宮中央運動公園を新たな市民ニーズに見合う公園として機能強化する。
- ②本市の「市民協働による花と緑のまちづくりの拠点」を都市拠点エリアへ再編するため、臨海部から市民緑化活動センターである花工房を西田公園へ移転し、市民参画によるまちづくりに対しての機能性・利便性の向上を図る。
- ③県立、市立病院を統合再編による都市型公立病院の先進モデルとなるよう、民間病院との連携を強化した 高機能な中規模病院を目指す新病院に隣接した公園を、文教住宅都市としての新たなシンボル公園として整備する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

- ①新中央体育館・陸上競技場について、中長期的なスポーツ施設の集約化や統廃合に備え、市の基幹的なスポーツ施設・防災拠点として再整備を図るとともに、臨海部から健康増進機能を集約する。
- ②近隣の西田公園においては市民緑化活動センターを臨海部から移転し、都市拠点形成区域での市民活動の拠点形成を図り、西宮中央運動公園とのネットワーク強化も推進する。
- ③地域コミュニティや市民のレクリエーション活動の場となる憩いの拠点として、安全安心で快適な住環境を有した居住地形成のため、市民や公園利用者が交流し憩える身近な公園及び道路環境を整備する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
サイクルポート利用による施設来訪者数の増加	回/年	地区内の施設に存在するサイクルポートの年間利用回数	本地区における新たな魅力の創出(施設再配置・機能強化)による回遊性の向上の効果指標として、地区内の公共施設等に存在するサイクルポートの年間利用回数を調査し、施設来訪者数の増加を目指す。	16,595 回/年	R4年度	25,000 回/年	R10年度
有料スポーツ施設の利用者数の増加	人/年	体育館・陸上競技場など地区内の各スポーツ施設の年間利用者数	スポーツ施設の機能集約と街中の公園との相乗効果による市民交流の活性化が、地区全体への健康増進や「Sport in Life」の浸透への波及効果の指標として、有料スポーツ施設利用者数の増加を目指す。	284,568人/年	R4年度	400,000人/年	R10年度
官民連携の「にぎわい創出事業」に対する市民参加人数の増加	人/年	地区内の公園等で開催する官民連携にぎわい創出事業(イベント等)の市民参加人数	地区内の周辺住民に対し、公園利用の促進やアウトドアでの余暇の充実等による、エリアの交流人口の増加や地域活性化の効果指標として、官民が連携して仕掛ける「にぎわい創出事業」への市民参加人数の増加を目指す。	0 人/年	R4年度	50,000人/年	R10年度
防災イベント・講座及び地域防災活動に対する市民参加人数の増加	人/年	地区内において、市や地域活動団体等が開催した各種防災イベントの市民参加人数	地区内の安全安心で快適な住環境を有した居住地形成の効果指標として、地域住民や地域活動団体等に対する防災意識を高める場の提供、公共施設の災害時の役割を理解してもらおう講習会や防災活動を支援・相談等の実施に対する、市民参加人数の増加を目指す。	325 人/年	R4年度	1,000 人/年	R10年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【スポーツと文化の交流拠点の再配置・機能強化による文教住宅都市としての西宮らしさの創出と地域の活性化】</p> <p>市民のだれもが快適で安全にスポーツを親しめ、また緑の中で子供が遊び、多様な世代が憩い、賑わう市民交流の場となる環境を整備する。整備では、年齢や障がいの有無に関係なく、成長機会を損なわず、だれもが一緒に利用できる公園整備を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園全体のランドスケープに配慮した、だれもが利用しやすく環境にやさしい公園 ・スポーツと公園の相乗効果によるにぎわいとコミュニティを創出するしかけ ・市民大会をはじめとした「する」スポーツが中心のスポーツ施設 ・多様な活動やイベントを受け入れる公園空間と一体となったスポーツ施設の整備 ・変化するライフスタイルにふさわしい魅力的なサービス提供及び施設運営 	<p>【基幹事業】(公園)西宮中央運動公園再整備事業</p> <p>【基幹事業】(エリア価値向上整備事業)西宮中央運動公園人流解析及び混雑状況可視化設備整備事業</p> <p>【提案事業】(地域創造支援事業)西宮中央運動公園イベント開催事業</p> <p>【提案事業】(まちづくり活動支援事業)西宮中央運動公園周辺地区活性化推進協議会開催</p>
<p>【地域防災拠点機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災の経験や昨今の災害の激甚・頻発化を踏まえた防災機能の強化 <p>地域防災渠道及び指定避難場所としての役割を果たすため、備蓄倉庫や臨時ヘリポート、マンホールトイレ、防災スピーカー、非常用電源などの機能整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年多発している集中豪雨などによる浸水対策として雨水貯施設を整備し、周辺地域の浸水被害の低減を図る ・地震や大事故といった広域災害が発生した際に、西宮総合医療センターと一体的に活用できる防災機能を兼ね備えた公園整備を行う 	<p>【基幹事業】(公園)西宮中央運動公園再整備事業</p> <p>【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報掲示板、幹13号線・瓦194号線誘導サイン整備事業、耐震貯水槽</p> <p>【基幹事業】(公園)西宮総合医療センター前公園整備事業</p>
<p>【周辺道路整備による安全性の確保と自転車交通利便性・まちの魅力と特色を高める回遊性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路整備により、西宮中央運動公園や周辺施設への安全性の確保 ・地域内の円滑な移動を実現するため、駅・公共施設にサイクルポートを整備し、回遊性を持たせることで、まちの魅力向上を図る 	<p>【基幹事業】(道路)西715号線道路改良</p> <p>(関連事業)サイクルポート整備</p> <p>【協定制度等】サイクルポートの設置</p>
<p>【文教住宅都市にふさわしい花と緑のまちづくりによる魅力ある交流・活動拠点の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティづくりの一環として、住民自らが花壇を育成・運営していく花のコミュニティづくり事業を展開する市民緑化活動拠点施設の整備 ・地域緑化の担い手となる花と緑のまちづくりリーダーの養成と連携を目的とした、市民が主体となった花と緑のまちづくりの活動の推進 ・市民緑化活動の拠点からエリア内外に拡がり展開する、市民参画によるまちづくりの推進 	<p>(関連事業)(公園)西田公園再整備事業</p>
<p>その他</p>	
<p>【西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備基本計画】</p> <p>・西宮中央運動公園は、南部市街地における貴重な緑の空間であるとともに、隣接する中央体育館とあわせて、本市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となっている。また、中央体育館・陸上競技場は、本市のスポーツ施設の中心的施設であり、市民体育大会をはじめ各種行事、開票所としての活用や、防災面では、中央体育館は指定避難所となっている。近年、中央体育館(昭和40年竣工)や陸上競技場(昭和32年竣工)などの老朽化が進行しており、中央体育館については、建築基準法に基づく新耐震基準を満たしておらず、各種施設の早急な更新が喫緊の課題となっている。、公園と隣接する優位性を活かしたスポーツ・レクリエーション施設としての機能や災害時の活動拠点としての機能の充実が求められている。</p> <p>●整備基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) スポーツ活動や健康づくりの促進につながる運動公園 (2) トップレベルのスポーツをはじめとした多様な用途に対応できる総合運動施設 (3) 緑豊かなスポーツと文化の交流施設としての公園 (4) 誰もが利用しやすく、環境に配慮した公園施設 (5) 防災機能も総合的に備えた施設 (6) 民間活力を活用した区域全体の一体的な整備と管理運営 <p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設再整備について、各種競技団体とのワークショップを開催し、望まれる機能や利活用について意見聴取を行った。 ・西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備基本計画について、パブリックコメントを実施するとともに、周辺住民に対して説明会を実施し、計画に対する意見聴取を行った。 ・年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが一緒に遊べる公園整備を目指し、市社会福祉協議会をはじめ、市内の障害者団体、障害を持つ子供の親を対象に基本計画を説明し、意見交換会を実施。 ・西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業に対する市の考え方や、事業者に期待するところについて市と有識者との間での意見交換会を実施し、市ホームページに掲載している。 <p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <p>・本事業では、機能の再編・集約を促し、西宮中央運動公園の公園・運動施設等の再整備を実施し有効活用を図るとともに、PFI事業(BTO方式)として民間活力の導入を予定している。事業では、公園内に民間提案による公園施設の整備・運営を求め、官民連携によるにぎわいの創出を図る計画としている。</p> <p>・エリア活性化推進協議会(エリアマネジメント組織)を西宮中央運動公園を拠点として設立し、地域交流イベント等の様々な活動について官民連携で取り組むソフト事業も展開する。本協議会は、スポーツやアウトドアを楽しめる環境を周辺住民とともに創造し、スポーツを核としたエリアの交流人口の増加と地域活性化を図ることで、本エリアの価値を向上させることを目的とする。</p>	

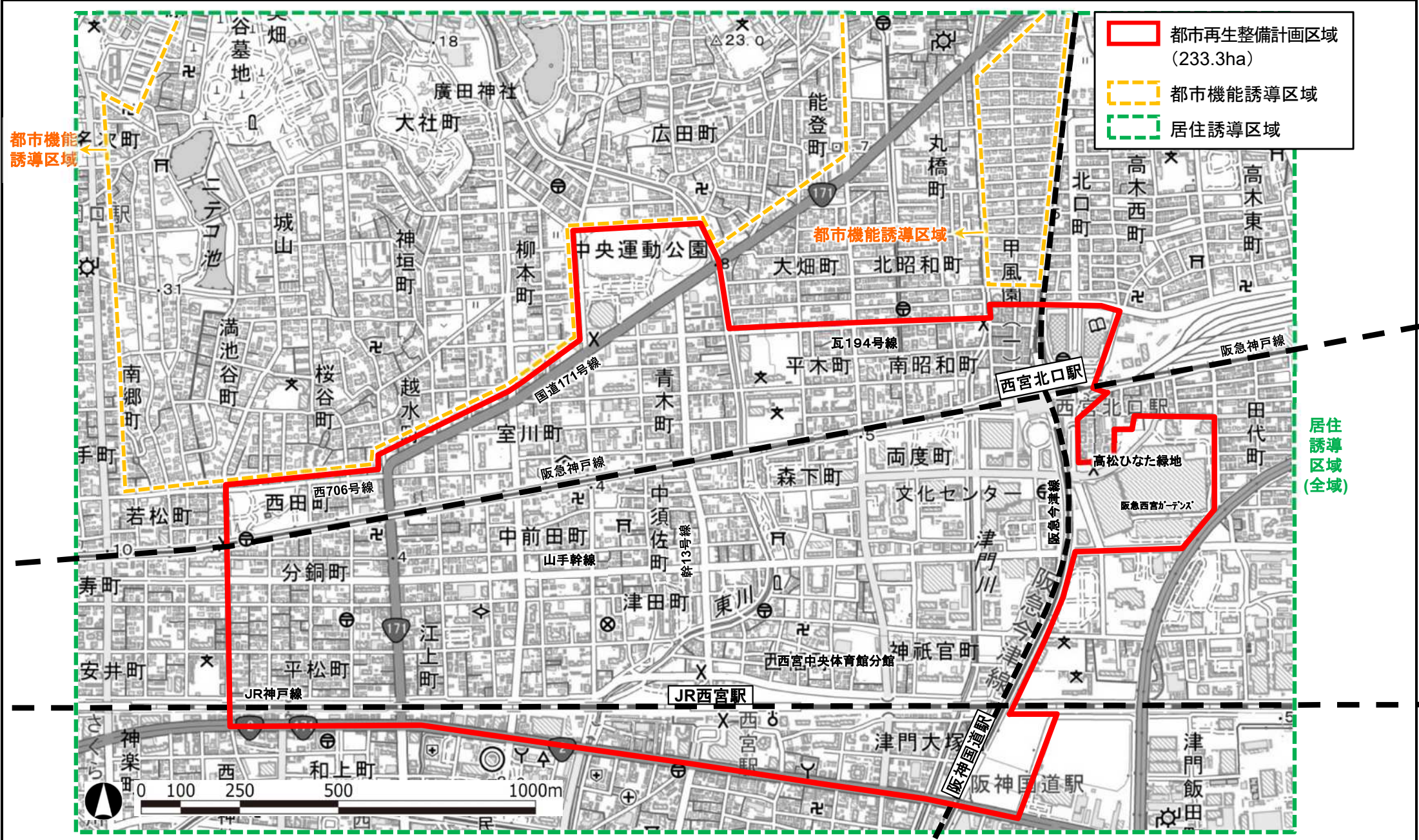
西宮中央運動公園周辺地区(兵庫県西宮市)

面積

233.3 ha

区域

兵庫県西宮市 河原町 3,3-2,8,23,28-2、兵庫県西宮市中屋町 29,39 ほか



西宮中央運動公園周辺地区(兵庫県西宮市)整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	西宮市立地適正化計画の基本方針の一つに掲げる「文教・スポーツ施設を拠点としたまちづくり」を推進するため、魅力と活気に満ちた緑都市空間を中心市街地に創出し、基本理念である「地域の魅力を生かした誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくり」を実現する。	代表的な指標	サイクルポート利用による施設来訪者数の増加 (回/年)	16,595 (R4年度) → 25,000 (R10年度)
			有料スポーツ施設の利用者数の増加 (人/年)	284,568 (R4年度) → 400,000 (R10年度)
			官民連携の「にぎわい創出事業」に対する市民参加人数の増加 (人/年)	0 (R4年度) → 50,000 (R10年度)
			防災イベント・講座及び地域防災活動に対する市民参加人数の増加 (人/年)	325 (R4年度) → 1,000 (R10年度)

- **基幹事業① (公園)**
西宮中央運動公園再整備事業(スポーツ・レクリエーション拠点)
- **基幹事業② (地域生活基盤施設)**
情報掲示板、耐震性貯水槽(雨水)
- **基幹事業③ (エリア価値向上整備事業)**
・西宮中央運動公園人流解析及び混雑状況可視化設備整備事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
・イベント開催(マルシェ,スポーツイベント,フワワーイベント)
- 提案事業(まちづくり活動支援事業)
・西宮中央運動公園周辺地区活性化推進協議会開催

- **基幹事業⑤ (地域生活基盤施設)**
・幹13号線(西福河原線)誘導サイン整備事業
・瓦194号線(平木通り)外誘導サイン整備事業

- **基幹事業④ (道路)**
西715号線道路改良

- **関連事業**
西706号線歩道新設事業

- **関連事業**
西田公園再整備事業(市民緑化活動センター整備)

都市再生整備計画区域 (233.3ha)

都市機能誘導区域

居住誘導区域

- ※【参考】立地適正化計画に位置付けられた、地区内の**誘導施設**
- ・中央体育館(ホール900席以上)
 - ・陸上競技場(観覧席付スポーツ施設)
 - ・市民緑化活動センター(西田公園)
 - ・JR西宮駅
 - ・西宮北口駅(阪急)
 - ・阪神国道駅(阪急)
 - ・西宮総合医療センター(病院)

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- - - 関連事業

①都市機能集約・再配置

「スポーツ・レクリエーション拠点」と、「市民緑化活動センター」を、都市拠点形成区域へ集約・再配置！！

- 関連事業
サイクルポート 計12箇所
新規・再整備 : ● 5箇所 既存 : ○ 7箇所

- 関連事業
西宮市自転車利用環境改善計画事業
ネットワーク路線 :
- ネットワーク補完路線 :

- 関連事業
JR西宮駅南西地区再開発事業

- **基幹事業⑥ (公園)**
西宮総合医療センター前公園整備事業

②都市機能統合再編

県立・市立病院の統合再編

